

授業案の例(学問分野別科目)

例1

授業科目	歴史学入門
授業題目	アジアの歴史と文化
キーワード	アジア、歴史、文化
授業概要	初めに歴史学の学問分野について俯瞰する。歴史学とはどのような学問か、歴史的なものの見方・考え方とはどのようなものかについて学習する。次いで中国を中心とするアジアの歴史と文化について学習する。具体的には中国の近世、特に宋・元代を中心に、政治・社会・経済・文化・国際情勢等について学ぶ。最後に総まとめと振り返りを行う。

例2

授業科目	生活科学入門
授業題目	明治期における「美術」の誕生から工作・工芸教育まで
キーワード	美術、工作、工芸
授業概要	明治期における「美術」や「工芸」の概念がどのように誕生してきたのか、テキストの講読を通して、それらの学問分野について俯瞰する。さらに現代の工作・工芸教育に焦点をしぼり、工作・工芸教育のエッセンスでもある「手で考える」という思考法を子どもたちの活動を追体験することによって確認する。最後に学習した内容をレポートとして取りまとめる。

授業案の例(主題探究型科目)

例1

授業科目	自然のしくみ
授業題目	化石を通して生物の形態とその適応・進化を考える
キーワード	化石、生物の変遷、生存戦略
授業概要	授業中に化石の観察実習を行い、生物の生存戦略について理解を深める。第1～5回の授業では、生物の変遷と地球環境の変化について学習する。第6～7回では、用意した化石の観察実習を行い、提示された古生物(観察実習した化石から選定)について調べて取りまとめる。第8回では、その取りまとめた成果についてペアワーク及び全体共有を行い、「生物の形態とその適応・進化」について考える。

例2

授業科目	環境を考える
授業題目	生命の営みを知り地球の未来について考える
キーワード	生態系、光合成、生体分子
授業概要	光合成システムを題材にしなから、人類のかけがえのない拠り所である生態系(Ecosystem)について科学的な基本理解を得ることを目的とする。各回の講義をとおして、光合成に携わっている生体分子、私たちの体の中で実際におきている化学反応に携わっている生体分子の構造と機能について学習する。また、生命の営みのしくみに関する双方向型のレポートを適宜行い、地球の未来について考える。